



第73回入学式 ようこそ新入生

4月11日(木)に第73回の東中学校入学式を行いました。式では教育委員会祝辞の後、2・3年生を代表して 江藤 心晴 さん(生徒会長)が、新入生に向けて温かい歓迎のことばを述べました。

また、新入生を代表して 今井 梨乃 さんが、これから始まる中学校生活で「自分の夢を見つけ、実現するために努力し、充実した中学校生活を送ることを誓います。」と誓いの言葉を述べてくれました。

今年は89名の新入生を迎えることができました。1年生には、これからの3年間の学校生活で多くのことに挑戦して、成功したり失敗も経験したりしながら、喜びや楽しみ、時に苦しみ、豊かな心と強い体をつくってほしいと思います。学習や部活動などにおいて、常に目標をもち、先輩や後輩、仲間とともに夢を追いかけて、充実した中学校生活を送ってほしいと願っています。



新入生歓迎式 一日の学校生活と部活動を紹介

15日(月)の午後に、生徒会主催による新入生歓迎式が行われました。前半は、生徒会役員が「高鍋東中の1日を知ろう」という題で新入生歓迎のための劇をしました。

東中の一日の学校生活の流れをユーモアたっぷりの中にも、しっかりとポイントを押さえた内容で紹介してくれました。特に朝の「目立て」や「正姿黙想」、「無言清掃」などについては、東中の伝統を引き継ぐことの大切さについても自信をもって伝える姿が印象的でした。

後半は、部活動紹介を行いました。各部活動が、キャプションを中心に工夫を凝らした紹介をしてくれました。どの1年生も、各部の紹介をとっても関心をもって見ていました。最後に1年生を代表して、岩村 花那 さんがお礼の言葉を述べました。

本校には、11の部活動(男・女子卓球、柔道、女子バレーボール、男・女子バスケットボール、男・女子ソフトテニス、軟式野球、サッカー、吹奏楽)があります。1年生には、ぜひ一人でも多く入部して、部活動を通して人間的にも成長してほしいと思います。

歓迎式の生徒会発表や部活動紹介をとともに見る2・3年生の態度はとても素晴らしく、高鍋東中学校の伝統を感じた時間でもありました。



石井十次 生誕記念式典

10日(水)にたかしんホール(町中央公民館)で、第37回石井十次生誕記念式典が行われました。「なわのおび賞」が、本校1年生の湯浅 康平 さんと卒業生の西吉 栞汰 くん(高校1年)など6名に贈呈されました。この賞は、石井十次の精神や生き方を高鍋の子どもたちに継承してもらおうと、3年前に制定されたものです。

また、町内の中学生を代表して徳島 彩 さん(本校2年)ら4人が壇上で献花を行いました。

<受賞理由>湯浅 康平 くん

学習では積極的に自分の考えを発言。教室の消しゴムのくずを集めたり、机の配置整理をしたり学習環境を整えることに加え、廊下や教室のゴミは拾ってゴミ箱に捨てるなど模範となる行動ができている。運動会や修学旅行ではリーダーシップを発揮。高齢者や特別支援学級の子に温かく対応し、人間性も豊かである。

<受賞理由>西吉 栞汰 くん

何事にもやる気に満ち前向きに取り組んでおり、生徒会長として活躍。小学校から続けている陸上競技はすばらしい成績を残し宮崎県ワールドアスリート発掘・育成事業ではまとめ役に抜擢された。また、東児湯英語弁論・暗唱大会で最優秀賞、NHK全国学校音楽コンクール宮崎県大会では金賞を受賞している。



自転車盗難防止モデル校に指定

今年度、高鍋東中学校が「自転車盗難防止モデル校」に指定され、15日(月)に交付式を本校体育館で行い、高鍋警察署生活安全課の發田 礎 巡査(平成21年度本校卒業生)から全校生活委員長の古場 翔菜美さんに指定証が渡されました。

宮崎県内では昨年度870件の自転車盗難が発生しており、その内の約7割が無施錠であったということです。これから学校内外で、各自が確実に自転車の施錠を行い、みんなで盗難防止の意識を高めていきましょう。

